

【開催主旨】

第5回木曾川上流水防災協議会（愛知ブロック）を開催し、緊急行動計画の改定に伴う規約、取組方針の改定について協議しました。また、沿川の自治体や県、国等が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的かつ計画的に推進するための取組方針のフォローアップを実施しました。また、意見交換において一宮市長、江南市長、稲沢市長、名古屋地方気象台長より取組事例についてご紹介いただきました。

【開催概要】

開催日：令和元年7月11日（木）

会場：アイプラザ一宮 2階 小ホール

出席者：一宮市長、犬山市長、江南市長、稲沢市長、名古屋市、小牧市、岩倉市、北名古屋市、あま市、大口町、扶桑町、大治町、愛知県尾張水害予防組合管理者、愛知県建設局、愛知県防災安全局、愛知県尾張建設事務所、愛知県一宮建設事務所長、愛知県海部建設事務所、名古屋地方気象台長、（独）水資源機構中部支社事業部、中部電力株式会社岐阜水力センター、関西電力株式会社水力事業本部今渡水力センター、イビデン株式会社エネルギー統括部長、陸上自衛隊第35普通科連隊、新丸山ダム工事事務所長、丸山ダム管理所長、木曾川下流河川事務所長、木曾川上流河川事務所長

- 議 事：①木曾川上流水防災協議会規約の一部改定について
②木曾川上流水防災協議会における取り組みのフォローアップ等について
③意見交換
- 情報提供
平成30年7月豪雨による木曾川・長良川・揖斐川の出水状況について
防災・河川環境教育の取り組みについて
 - 取組事例の紹介
一宮市 中野市長、江南市 澤田市長、稲沢市 加藤市長、
名古屋地方気象台 松村台長

第5回木曾川上流水防災協議会
（愛知ブロック）の開催状況

取組事例の紹介（一宮市長）

【協議会スケジュール】

- 第1回協議会 ※協議会立ち上げ
・岐阜ブロック（平成28年5月12日）、愛知ブロック（平成28年7月5日）
- 第2回協議会 ※取組方針の策定
・岐阜・愛知ブロック合同開催（平成28年8月29日）
- 第3回協議会 ※水防法改正に伴う今後の展開、取組のフォローアップ、意見交換等
・岐阜ブロック（平成29年5月11日）、愛知ブロック（平成29年8月10日）
- 第4回協議会 ※水防法改正に伴う法定協議会への移行、取組のフォローアップ、意見交換等
・岐阜ブロック（平成30年5月10日）、愛知ブロック（平成30年7月17日）
- 第5回協議会 ※緊急行動計画の改定に伴う規約、取組方針の改定、取組のフォローアップ、意見交換等
・岐阜ブロック（令和元年5月10日）、愛知ブロック（令和元年7月11日）

【一宮市長】



- ・一宮市では、民間企業との連携について取り組んでいる。昨年度から、市内の倉庫に保管していた住民向けの備蓄食糧を物流業者の倉庫に委託保管し、災害時への迅速な対応に向けた体制を確保した。
- ・また、災害時の飲料水の確保にも取り組んでおり、今年度、指定避難所としている小中学校全ての受水槽に給水栓を取り付ける工事を実施し、発災直後に受水槽内の水を給水車が到着するまでの応急対応として活用する予定である。
- ・今後、市民の命と財産を守ることを目標に、より一層、防災対策への取組を強化していきたい。

【江南市長】



- ・江南市では、洪水時の緊急避難場所の確保のため、公共施設では小中学校の校舎・屋上で17か所、民間施設では、愛北看護専門学校の校舎屋上を「洪水避難ビル」として指定した。
- ・また、住民の避難に役立てるため、洪水避難ビルの入り口に表示板を設置する予定である。
- ・住民の防災意識の向上を目的とした「出前講座」や「子ども防災教室」を開催している。
- ・今後、他市町との連携を図りながら、水防災活動に取り組んでいきたい。

【稲沢市長】



- ・稲沢市では、防災・減災意識を高めるとともに、地域の特性や課題を理解しながら実践的な知識を身に付けることを目的として、平成26年度から、小中学校を対象とした防災教育を実践している。
- ・防災教育実践指定校として平成30年度から市内2校を指定し、被災状況を想定した避難訓練や、教職員の防災研修会を実施した。
- ・今後、子どもたちが防災・減災に考えを巡らせることができる大人になれるよう、防災教育を推進していきたい。

【名古屋地方気象台長】



- ・気象庁では、昨年スーパーコンピューターを導入したことにより、従来3日先までであった最大風速、暴風警戒域などの予測が5日先まで可能となった。また、予測精度も向上し、予報円の大きさも従来より約20%縮小が可能となった。
- ・昨年の西日本豪雨を踏まえ、住民の取るべき行動を5段階で表す警戒レベルの運用が始まったが、防災気象情報と警戒レベルの関係についてホームページで解説を行っている。
- ・民間事業者協力のもと、プッシュ情報として、大雨・洪水警報の危険度分布の通知サービスを開始している。
- ・「気象庁防災対応支援チームJETT」を昨年度からスタートし、状況に応じた職員の派遣・解説や、災害後には関係各所と共同の振り返り等を実施していく。

【木曾川上流河川事務所】
「堀事務所長」

- ・災害が頻発している昨今、いつどのような災害が起きても不思議ではないため、水防災協議会での取り組みが非常に重要視されている。
- ・伊勢湾台風襲来60年という節目に、今回の水防災協議会での議論を踏まえながら、今後の取り組みをさらに強化していきたい。